	平成		8 年月	<b>E事務</b>	事業評価	<u>表(-</u>	一般用	<u> </u>							
	務事業名 <mark>業コート</mark>	ĸ	1 笠 一 幼 班 🛭	9.電光車業						担	<b>課コード</b> 交教育課	820100	<b>TEL</b> 29	98-9238	
820120 所沢第二幼稚園運営事業 開始年度 昭和48 年度					→ 終了年度				年度 課 グループ 所沢						
				事務		马託車務		□ 法定受		77	根拠法		**		
<b>2</b> 事		/程 <i>加</i> J計画・指針		<b>学</b> 物		で記事物		山 広足文	בות ניון די טבו		TRICIA	T)			
業	関連・類似事業							#+							
o o	総合計画の体系 章 教育・文			・文化・スポーツ	ポーツ 節学校教育				基本 方針 確かな学力と自立する力の育成に努めます						
概要	事業開始の背景		昭和48年	昭和48年4月1日創立、人口増加に伴い、幼児の増加に対応し地域に幼稚園施設を望まれたための導入された事業である。											
目的(どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に)															
③ 事	・公立幼稚園として幼児教育のセンター的な役割をすること・生きる力の基礎を養い、健康で心豊かな幼児の育成を図ること														
	対象(誰を、何を対象としているのか)									平成	26 年度		158		
業	•徒歩2	25分圏内7	で通園可能なる	4, 5歳児				対象数	単位	平成	27 年度		154	人	
o o	事業の	具体的な	内容及び実施				•								
内容	で。168 ・年間1 面談、 ・地域と 読み聞	園児の日課・・・8時50分登園。9時〜11時30分、園児それぞれの遊びや教師の提案した遊び、課題活動など。11時45分お弁当、14時降園。その後園庭開放を15時ま 5。16時20分まで預かり保育。 ・年20回Tボール教室(14時〜15時) 年間行事・・・入園式、保護者会、健康診断、交通安全教室、保育参観、保育参加、遠足、園外保育、プール活動、夕涼み会、防災訓練、祖父母の会、運動会、個人 5談、芋ほり、焼き芋会、劇遊び、餅つき、卒園式他。 地域との交流及び人材活用・・・保・小・中学校との交流、荒幡富士清掃、荒幡富士山開き参加、夕涼み会お囃子披露・盆踊り指導、大正琴鑑賞、繭玉祭り、絵本の 5み聞かせ、いきものふれあいの里センター・エコクラブ交流他。 運動遊び、自然体験、仲間作りなど実体験を通して教育活動を推進。一人一人に応じた総合的な指導の実践。													
4		計種別≫	一般	会計	平成 26	年度	(千円)	平成	27	年度	(千円)	平成	28 年度	(千円)	
	当初予算				6,365						4,834				
	決 算 (見込み含む)   (非常勤特別職員) (臨時的任用職員)			内任用職員)(	5,292 ( 0.00 人) ( 3.00 人)			( 0.00 人) ¦( ;			3,955 3.00 人)	3,955 ※心身障害児介助員分の経費は、「特別			
経	正規職員人件費			13 I ± 113 1 = 6 × 7	5.20 人 45,349			5.25 人			45,465	※「財源内訳」について			
費	事業費合計				50,641			49			49,420	のサーローナン・ナンナーナ			
	財 一般財源 国・県支出金 その他( 園児保育料 )				44,508						43,967			-2,218	
				育料 )	6,133			5.4			5,453	0 3 6,460			
<b>5</b> 実績				目名	項目説明			単位							
			保護者、地域読み聞かせ	サポートによる						73	70		73		
	活動実績		未就園児幼稚	重開放	実施延べ回数						15	13	14	15	
1,1			 Tボール教室		実施延べ回数(23年度から実施)			回		未実	施	20	20	20	
			頂	目名	頂	目説明		単位		Н	26	H 27	H28目標値	将来目標	
<b>⑥成果</b>	NV 32 32 32		アンケートに。		満足と答えた数/アンケート回収数(記名式)			%	目標値		85	90	92	93	
			保護者の満足	-					実 績		90	91	√ 「実績」 拡大図る	□ 「実績」 □ 縮小図る	
	目標達成状況 どれだけ目標に近つ			け目標に近づい	・ いているかを達成率として示しています			%	達成率		106	101	↑どち	らかを	
	(1) 平成27年度中に改善した点(改善内				容・その結果について記載してください)			(	2) 平成27:	7年度成果指標の目標値が未達成の理由・分析					
<b>⑦改善点</b>	・Tボール教室を再開できたことは、園児や保護者に好評で、運動好きな幼児の育成につながってきている。 ・町内会長へ園便りを発行、幼稚園教育への理解と地域とのつながりに役立っている。 ・いきものふれあいの里センター、吾妻図書館、エコクラブ「ウルセーズ」と市民フェスティバルに参加、幼稚園の教育活動のPRや地域のつながりを深めることができた。														
<b>8</b> 評	評	<ul><li>✓ 継続</li><li>✓ 終了</li></ul>	$=$ $\begin{bmatrix} - \\ - \end{bmatrix}$	事業実施方法(複数選択可		地域の幼児の健全育成を図るため。									
	価		性の	次年度予算		富小 ☑ 現維	状 持 連由 i	近年の園児	数がほぼ-	-定してに 	いるため、	これまでと	同様に事業を	実施する。	
価		でと同様に実施してい	、園児の遊び		でに取り組んでいる状況 動、年間行事などの事業を、地域と交流を図り			考えが示されている。この答甲を踏まえたつえで、当面は、現状の園児教に 大きな変化がなく一定していることから、幼児の育成を図るため、継続して事 業を行っていく。							
	評	価日	H28.	8.19	評価者職氏名	学校教育	育課長 堺	俊彦 ————							
9 環境 影響		有益な 境影響						有害な環境 及ぼす原因		□消費、雪	事務文書(	カ作成 <b>オ</b>	規制を受ける環境 緊急事情		